

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	SDG s の視野を広げ、未来を生き抜く生徒の育成～人権の精神を将来の生き方に活かす～
----------	---

○調査研究のテーマを設定した目的

当該校では、「知性豊かに 心身を鍛え 未来生き抜く生徒」を教育目標に掲げ、校訓「自主 創造 協調」のもと、教育活動に励んでいる。「知性豊かに」とは自分自身の向上を目指し、「心身を鍛え」とは他の人と協調して生きることを目指すものである。また、「未来を生き抜く」とは自らの知識や人間性を基に人生を切り拓いていける人材を育成することにつながる。

生徒が生きる未来社会においては、地球規模の視点で、環境や多様性という諸問題に取り組んでいかなければならないことは明白であると考えます。その点において、国連サミットで採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』の中核を為す「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDG s) に目を向け、一人として取り残すことのない豊かな世界を目指すことは、地球上に住む我々一人一人が心に刻んでいく必要があることである。

当該校では、生徒一人一人が、地球規模の視点を持ちつつ、自らを育んだ郷土に対しても理解を深め、その活性化に向けた活動ができる地域人材として成長してほしいと願っている。そのような力を身に付けさせるためにも、社会が目指す方向性の一つとしてSDG s を位置付け、一人一人がその力を発揮して生き生きと生活ができる社会を構築するための人権教育に取り組むたい。

○調査研究の概要

当該校は人権課題として「外国人」「子供」「女性」「高齢者」「障害者」「インターネットによる人権侵害」「性的指向・性自認」「SDGs」を中心に人権教育を基盤とした教育活動をすすめた。その結果、人権に関して以下のような変容がみられた。

- ・周りの人がどう思うかを考え、互いを認め合う態度の向上
- ・困っている人がいたら助けていきたいという態度の向上
- ・ボランティア活動などの積極的な参加

新型コロナウイルス感染症によって行うことができなかった活動が、今年度徐々に復活され、様々な人との関わりが増えた。そのことによって人権に関しての正しい考え方も身に付きつつある。今後も人権に対する正しい知識と意識の向上を図るために、教育活動全体において、人権教育との関連を図り、人権教育を充実させていきたい。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

佐井村立佐井中学校

○これまでの研究指定等の状況

1997年：文部省指定の人権教育研究指定校

○学級数

3学級

○児童生徒数(R5.4.1)

全生徒数：29人

○URL

www.vill.sai.lg.jp

○指定理由

当該校では、令和2年度より、総合的な学習の時間において、SDGs に関する学習を推進してきた。この取り組みは、現在当該校で行っている様々な活動に対して「人権意識の育成」に役立てるものとして有効であると考えられる。

当該校の地域には、高等学校がなく中学校卒業後は地域外の学校で学ぶことになる。また、当該校の地域は人口減少のため過疎化の危機にある。そのような中で、未来を切り拓くためには、自分たちのコミュニティだけではなく、異なる価値観を持った地域や人たちとの関わりは欠かせない。年齢や性別、人種等の壁を越え、心豊かなつながりを得るためには人権意識の確立と高揚が重要となるため、本研究が有効であると考えられる。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題1つに◎印を付与

①子供	○
②女性	○
③高齢者	○
④障害者	○
⑤同和問題	
⑥アイヌの人々	
⑦外国人	◎
⑧- 1 HIV 感染者等	
⑧- 2 ハンセン病患者等	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	○
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬性的指向、性自認	○
⑭その他 (SDGs)	○

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

自他の人権を尊重し、将来を豊かに生きることの価値を共有する人権教育を推進するために、以下の人権課題を中心に調査研究を行いたい。

①外国人への理解

- ・仮説…講演や外国人との交流を行うことで、外国の制度や習慣をはじめとした共通性や違いを理解することで、互いに認め思いやる気持ちを育成することができる。
- ・根拠…外国人との交流をもった方からの講演や外国人の子供たちとの交流を全校生徒が参加して実施する。

②ネットトラブル等に対する理解

- ・仮説…情報モラル教室において、インターネットによるトラブルの未然防止と人間関係の構築の方法を見直し、自分の人権を守るとともに、他者の人権を守ろうとする態度を育成することができる。
- ・根拠…情報モラル教室において、情報機器に関わる実際のトラブルにふれ、自己の利用の仕方を考える。

これらを中心に行うことで、日常の教育活動で自他を尊重する意義を意識させつつ、各教科の授業や行事において人権との関連を示し、それぞれの活動を通して人権に関わる力をどのように身に付けるのかを明確にする。そのことによって、学校の教育活動全体を通じた人権意識の育成を図る。

県教育委員会としては、調査研究内容の設定及び見直し、人権教育年間指導計画及び提出資料作成に係る指導・助言を行う。また、人権感覚の育成を図る教育活動を推進するため、人権教育全般に関わる情報等について、担当指導主事や関係機関の担当者等による指導・助言を行うなどの支援を行う。(具体的な指導、助言及び支援に関する取組については、「実施計画」参照。)

○実施方法

<教員>

①教科の年間指導計画や行事の要項に人権教育の視点を加える。

- ・日常の指導において、教職員が人権を意識して働きかけることで、教育活動全体に根ざした人権意識の育成を図ることが期待できる。

②SDGs と関連した地域や関係機関の人材を活用する。

- ・いろいろな分野の人材と活用し、ふれ合うことによって、様々な見方や考え方の醸成が期待できる。

③人権推進講座へ教員を派遣する。

・様々な角度から人権に関する知識を学ぶことで、人権教育のより一層の推進が期待できる。

④各種アンケートの実施とスクールカウンセラーを活用する。

・各種アンケートをもとに、スクールカウンセラーと一緒に分析し、学級経営や人間関係づくりに生かすことで、自他の人権を尊重する意識の向上が期待できる。

<生徒>

取組	対象	教科・科目	実施方法・成果
人権教室	全学年	特別活動	人権擁護委員による講話によって、よりよい人間関係づくりのための知識を学び、人権に対する実践的態度や自他を認め合い、多様な考えを受け入れる気持ちが養われた。
人権作文コンクール応募	代表生徒	国語	
少年防犯弁論大会参加	代表生徒	国語	
小中合同体育祭	全学年 +小学生	特別活動	縦割活動を通して、異年齢集団である小学生を指導することで、平等性と自他の価値を尊重しようとする態度が身に付いた。
SOSの出し方教室	全学年	特別活動	スクールカウンセラーによる、困ったときの発信の仕方と、逆に困っている人の発信の受け取り方について学ぶことができた。
思春期教室(妊婦体験)	全学年	保健体育	外部講師から性に関する専門的な知識や技能を学び、また妊婦体験を通して、男性も女性も互いを価値のあるものとして尊重し合い、命を大切にすることを育成することができた。
救急法講習会	全学年	保健体育	
薬物乱用防止教室	全学年	保健体育	
赤十字登録式	全学年	特別活動	赤十字活動にかかわる理念を知り、だれもが赤十字の一員であることを自覚することができた。
青少年赤十字のつどい	代表生徒	特別活動	
青森県立保健大学への訪問	全学年	総合的な学習	高齢者に関わる健康や医療の現状を知ると共に、高齢者に対する思いやりの気持ちが高まり、自己の価値観の向上を図ることができた。
「ヘルスアップinさい」での交流	全学年	保健体育	地域の方との協働活動を通して、高齢者と触れ合う活動や奉仕活動の推進、思いやりの心を育むことができた。
居住地校交流	3年	特別活動	2校の特別支援学校との居住地校交流を実施することで障害者に対して、人間の尊厳をはじめとしたノーマライゼーションの理念を養うことができた。
居住地校交流	2年	特別活動	
異文化交流教室：ニカ	全学年	総合的な学	ニカラグアにおける貧しさや文化、困っている

ラグアの女子野球部との交流		習	ことを理解することで、普段暮らしている私たちの生活がいかに幸せな状況であるのか、何かできることはないかを考えることができた。
異文化交流講話：ウクライナからの避難民による講話	全学年	総合的な学習	突然平穏な暮らしが奪われ、異国の地に避難しなければならなくなったことを知り、世界の人々が平和に暮らしていくことの大切さについて考えることができた。
A L T お別れ会	全学年	特別活動	これまでお世話になった ALT に感謝の気持ちを込めて手紙や色紙を作るなど、外国人に対するより深い思いやりの気持ちを育むことができた。
情報モラル教室	全学年	特別活動	外部講師の講話から、情報機器の正しい使い方と健康被害についての知識を身に付けることで、ネットトラブルについて考え、人権尊重の意識をもってインターネットを正しく利用しようという態度が高まった。
修学旅行	3年	総合的な学習	総合的な学習の時間を中心としたSDGsの学習と ESD の視点に立った学習を実施したことにより、様々な立場の方々とはふれあい、解決すべき社会課題をとらえ、それぞれの地域を取り巻く環境問題や人権問題について考えることができた。
職場体験学習	2年		
ジオパーク体験学習	1年		
SDG s の学習発表会	全学年		
伝統芸能「神楽」練習開始	代表生徒	特別活動	地域に伝わる神楽をはじめとした伝統芸能の継承を通して、地域の方との関わりを多くもち、自他の良さを認め、自分たちの住む故郷への愛着の心を育むことができた。
文化祭における伝統芸能「神楽」披露	全学年	特別活動	
全校調理実習「あおもり食命人」	全学年	家庭科	地域の食材を、様々な方々に提供してもらいながら、料理人の監修による調理実習を行い、自分たちが住む豊かな自然と地域の方々のありがたさを感じる事ができた。
海の食育アクション in さい	全学年	家庭科	豊かな海を守るための講話を通して海の現状について知り、様々な人と協働しながら海の未来を守っていこうとする態度が養われた。
クリスマス宅配ボランティア	希望生徒	特別活動	社会福祉協議会の方々と協力しながら1人暮らしの高齢者へのクリスマスプレゼントを梱包し、1軒ずつ渡すボランティアを行った。高齢

			者に対して進んで敬おうとする態度が養われた。
イングリッシュキャンプ（福島県ブリティッシュヒルズ）	希望生徒	英語	村の補助を活用し、オールイングリッシュでイギリス人との交流や年越しイベントを行った。イギリスの文化に触れることで、外国人に対する理解を深めることができた。

4. 検証・評価・改善・普及

- ・実施方法：全生徒へのアンケートや記述
- ・実施時期：令和4年12月と令和5年12月の比較
- ・実施指標：3段階

①よくできた（とても思う）②だいたいできた（少し思う）③できなかった（全く思わない）

検証項目	評価（方法や結果）	成果、改善と普及
<p>子供 (知的側面)</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>(技能的側面)</p>	<p>自分の発言や言動が相手を傷つけてしまうことがあるということを理解できた。</p> <p>① R4 92.3 → R5 92.9</p> <p>相手の嫌がることを言わずに公平に接しようと思う。</p> <p>① R4 96.2 → R5 96.4</p> <p>相手のことを考えた発言や行動をすることができた。</p> <p>R4 76.9 → R5 85.7</p>	<p>成果：同学年・異学年、また下級生の面倒を見ることなどはよく行われてきた背景がある中で技能的側面がやや高まった。</p> <p>改善：さらに少子化が進む中で子ども間の結びつきが強まる一方、特定のグループから外れて孤立する子どもが出ることも予想される。次年度も、小中との連携、保護者・地域との連携を引き続き強めていく必要がある。</p>
<p>女性 (知的側面)</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>(技能的側面)</p>	<p>妊婦の大変さについて理解できた。</p> <p>① R4 53.8 → R5 92.9</p> <p>妊婦さんが困っていたら手を差し伸べようと思う。</p> <p>① R4 80.8 → R5 96.4</p> <p>男性も女性も助け合いながら生活することができる。</p> <p>R4 84.6 → R5 85.7</p>	<p>成果：妊婦体験では、保健師に指導していただき、大変さについての理解が大幅に深まった。</p> <p>改善：少子化の影響で、村では妊婦に出会う機会が少ないが、将来社会に出た時に男女とも助け合って生活していこうという態度を実践できるようにしていく必要がある。そのために、次年度も保健師に指導していただく予定である。</p>
<p>高齢者 (知的側面)</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>(技能的側面)</p>	<p>高齢者がどんなことで困っているか知っているか。</p> <p>① R4 88.5 → R5 89.3</p> <p>高齢者に手助けしたいと思う。</p> <p>① R4 96.2 → R5 96.4</p> <p>高齢者とともに楽しく活動することができた。</p> <p>R4 38.5 → R5 89.3</p>	<p>成果：昨年までは感染症の影響で実際に触れ合う場面自体が少なかったが、今年はヘルスアップinさいを実施したことによりアンケートの数値が大幅に増えた。</p> <p>改善：コロナウィルス感染症拡大前には、現在より多くの触れ合う行事が行われていた。次年度以降も、クリスマス宅配ボランティアのような行事に積極的に参加できる体制を整えていきたい。</p>

<p>障害者 (知的側面)</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>(技能的側面)</p>	<p>障害者のことについて知ることができた。</p> <p>① R4 80.7 → R5 85.7</p> <p>障害者に対して差別することなく接しようと思う。</p> <p>① R4 84.6 → R5 89.3</p> <p>障害者と公平に接することができた。</p> <p>R4 84.6 → R5 96.4</p>	<p>成果：地域には障害に関する施設がなく、身近に障害者とふれる場面は居住地校交流に限られている。その中でも障害者に対する人権意識は根付いている。</p> <p>改善：次年度は、ろうあや肢体不自由といった佐井村では普段接することができない障害者との交流も検討中である。</p>
<p>外国人 (知的側面)</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>(技能的側面)</p>	<p>外国人の貧しい暮らしについて理解できた。</p> <p>① R4 42.3 → R5 89.3</p> <p>困っている外国人に手を差し伸べようと思う。</p> <p>① R4 53.8 → R5 85.7</p> <p>外国人と偏見なく接することができた。</p> <p>R4 38.5 → R5 92.9</p>	<p>成果：外国人は地域にALTしかいないので、外国人について、ほぼ理解していない状況であったが、ニカラグアやウクライナ、イギリスの人たちとの交流を通して、外国人のことをよく知るきっかけとなった。</p> <p>改善：次年度は台湾に向向いて交流する計画もある。一過性で終わることなく、様々な交流する場を設けることで外国人に対する理解や態度を高めていきたい。</p>
<p>インターネットによる人権侵害 (知的側面)</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>(技能的側面)</p>	<p>ネットによる人権侵害について理解できた。</p> <p>① R4 88.5 → R5 92.9</p> <p>ネットへの書き込みによって相手がどう思うかを考えるようになった。</p> <p>① R4 92.3 → R5 96.4</p> <p>ネット等を使うにあたって相手のことを考えて利用することができた。</p> <p>R4 84.6 → R5 89.3</p>	<p>成果：ネットの書き込み等による人権侵害に関しては、これまで情報モラル教室を毎年実施したこともあり高い水準で理解している。</p> <p>改善：今年度は健康被害も合わせて相手がどう思うかを重点的に実施した。実際の使い方に関して、相手がどう思うかを考えさせていく指導は必要だと考えられるので、次年度も引き続き情報モラル教室を行う予定である。</p>
<p>性的指向、性自認 (知的側面)</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>(技能的側面)</p>	<p>いろいろな性的指向があることを理解できた。</p> <p>① R4 69.2 → R5 71.4</p> <p>いろいろな性的指向に対して偏見の目で見ないようにしようと思う。</p> <p>① R4 92.3 → R5 92.9</p> <p>いろいろな性的指向があることに対して認めることができた。</p> <p>R4 88.5 → R5 89.3</p>	<p>成果：性的指向については、身近にいないため、実感できていない部分もあるが、理解は深まっている。</p> <p>課題：これから生きていく中で性的指向に関して様々な人がいて、どのように関わっていけばいいかを理解しておくことが大切だと考える。次年度も引き続き、保健体育の授業や社会の人権関係の授業において、理解を深めていきたい。</p>

<p>その他（SDGs） （知的側面）</p>	<p>地域の方々の支えがあって、いろいろな活動ができていることが理解できた。</p>	<p>成果：コロナウイルス感染症により行うことができなかった活動が復活してきており、地域と協力して活動する機会が増えた。</p>
<p>（価値的・態度的側面）</p>	<p>① R4 73.1 → R5 78.6 私たちのことを支えてくれる地域の方々に感謝したい。</p>	<p>改善：次年度以降も SDGs 関係の講師や地域の助けを借りながら、郷土の学習を行うとともに、そういった方々への感謝の気持ちをもたせていくようにしていきたい。</p>
<p>（技能的側面）</p>	<p>① R4 80.8 → R5 89.3 地域の方々と協力してボランティア活動に参加することができた。</p>	
	<p>R4 25.0 → R5 53.8</p>	

5. 人権教育に係る年間指導計画

令和5年度 人権教育年間指導計画

各教科等・学年	時期	1学期					2学期					3学期			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国語 (光村図書)	1学年	ちよっと立ち止まって					大人になれなかった弟たちに…								
	2学年	「自分で考える時間」をもとう					「言葉の力」			立場を尊重して話し合おう					
	3学年	握手 学びて時に之を習ふー「論語」から 作られた「物語」を超えて					誰かの代わりに 温かいスーブ わたしを束ねないで								
社会 (東京書籍)	1学年	世界各地の人々の生活と環境(地理)		古代国家の歩みと東アジア世界(歴史)			世界の諸地域、イスラム教徒の人々の暮らし(地理)			ユーラシアの動きと武士の政治の展開(歴史)					
	2学年	近世の日本、アイヌ文化とその継承(歴史)					現代に受けつがれるアイヌ民族の文化(地理)					開国と近代日本の歩み(歴史)			
	3学年	開国と近代日本の歩み、「度の世界大戦と日本」、現代の日本と私たち(歴史) 現代社会に特色と私たち、便人の戦争と日本国憲法、伝統としてのアイヌ民族、現代の民主政治と社会、私たちの暮らしと経済、モラル社会と私たち(公民)													
数学 (東京書籍)	1学年											女子の生まれる確率			
	2学年											アメリカホームズデイ			
	3学年														
理科 (学校図書)	1学年	身近な生物の観察		動物の分類											
	2学年						生物のからだと細胞								
	3学年						生物の成長・生殖 遺伝と進化 生態系					自然・科学技術と人間			
音楽 (教育芸術社)	1学年	君が代 We'll Find The Wayへはるかな道へ			日本の民謡 アジアの諸民族の音楽			作曲(姿勢と礼儀)			Yes!!		君が代		
	2学年	君が代 14歳の時間		夏の思い出			My Own Road 僕が創る明日			世界の諸民族の音楽			君が代		
	3学年	君が代								パピコラー音楽 ルールを守って音楽を楽しもう!			君が代		
美術 (光村図書)	1学年	うつくしい!					気持ちを伝えるデザイン					世界の仮面と出会う			
	2学年	うつくしい!					メッセージを伝える					わかりやすく情報を伝える			
	3学年	色を組み合わせて					海を越えた文化交流					美術の力			
保健体育 (東京書籍)	1学年	異性の尊重と性情報への対処					体の発育・発達					胎児を育てる母体の神秘			
	2学年	薬物乱用の社会的な影響 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処													
	3学年	感染症の原因とその広がり方 感染症の予防 ニーズの予防													
技術・家庭 (教育図書)	1学年	技術の役割(技術) 自分の成長と家族・家庭生活(家庭)		家庭生活と地域のかかわり(家庭)											
	2学年	これからの生物育成の技術(技術) / 持続可能な家庭生活(家庭)					情報セキュリティと情報モラル(技術)								
	3学年	幼児の生活と家族 幼児とのかかわり(家庭)					これからの情報の技術(技術)								
外国語 (東京書籍)	1学年	Friends in New Zealand					Think Globally, Act Locally								
	2学年	My Future Job					Homestay in the United States								
	3学年						Be Prepared and Work Together					Beyond Borders			
特別の教科 道徳 (日本文教)	1学年	さかなのなみだ 「いじめ」って何? 近くにいた友 怒りの感情と上手に付き合おう トマトとメロン 私らしさって? むかで競走 旗 自分だけ「余り」になってしまう													
	2学年	五月の風-カナ- 五月の風-ミカ- 自分の考え方を見つめよう リスペクトアーズ 人権課題への取り組み ハイタッチがくれたもの 「いじめ」をなくすために ホシト													
	3学年	卒業文集最後の二行 私たちは、なぜ人を攻撃するの? 違うんだよ、君。お互いを大切にするコミュニケーション 言葉の向きに よりよい信頼性へ 命の大切さ ぼりらのまねをした彼女を好きになった													
総合的な学習 の時間	1学年	SDGsとは		大学訪問		SDGsの課題研究			SDGsの中間報告			SDGsの研究発表			
	2学年	SDGsとは		大学訪問		SDGsの課題研究			職場体験			SDGsの中間報告		SDGsの研究発表	
	3学年	SDGsとは		大学訪問		SDGsの課題研究			修学旅行			SDGsの中間報告			SDGsの研究発表
特別活動	学級活動	前期学級組織づくり 役割と責任について考えよう					後期学級組織づくり リーダー・フォロワーについて考えよう					1年を振り返り、新しい目標を立てよう			
	生徒会活動	赤十字登録式													
	学校行事	交通安全教室		小中合同体育祭 人権教育		薬物乱用防止教室(伝説芸能「神楽」講習)			赤十字募金活動						
その他	生活アンケート(月1回) いじめアンケート(年3回) 学校評価アンケート(年1回) 挨拶運動 少年防犯弁論大会への参加														

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）

